

2025 年度

福岡女学院看護大学大学院

看護学研究科看護学専攻

一般入試・社会人入試

試験問題

看護専門分野

時間：60 分

問題用紙はこの表紙を除いて 3 枚あります。

解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

問題 1 以下の文章を読み、問 1～問 3 に答えなさい。解答は解答用紙（問題 1）に記入しなさい。

コミュニケーションとは、二者間または複数間で、送り手が受け手にメッセージを(①)したり、交換したりする過程である。人はコミュニケーションによって、意思、欲求、願望を伝達し、明らかな、あるいは(②)のニーズを表明し、悩みや困難に感じていること、おかれている状況、大切にしていることなどを交換し合うことで、信頼関係を築いている。

医療現場のコミュニケーションは、患者の意思や欲求、不安や不満などを医療者に伝える手段であり、医療者が患者のニーズを満たすための支援や治療計画を表明するための手段である。また、患者の抱える思いや(③)に合わせた説明や態度により、患者との信頼関係を築くうえで重要な要素である。

通常、良好な信頼関係を構築するためには、ある程度の期間を要する。しかし、近年の医療現場では、在院日数の短縮化や外来中心の傾向により、患者と医療者が接する機会が非常に少なくなっている。また、情報が氾濫するなかで治療方法の決定を強いられる患者や、知識や欲求の高い患者と、対応を通じて良好な関係を構築するのは難しい。このような状況のなか、短時間で患者の思いを導き出し、医療者の見解を明確に伝達することや、医療者自身の患者への思いを適切に伝えられるコミュニケーションが医療者にとって非常に重要なスキルとなってきている。

(中略)

コミュニケーションは、もともと個人に備わっている(④)や特性というように考えられがちではあるが、コミュニケーションスキルという技術であり、訓練によって身につけられるものである。相手からのメッセージを細やかに受け取るための「(⑤)」の力と、相手に伝える「共感」の力は、**非言語的表現**を意識することで磨かれる。

患者とどうしてもうまくコミュニケーションがとれないと感じたときや、思いがけない言葉をかけられた際に、訓練を重ねることにより、一步踏み込んだコミュニケーションを行うための引き出しが増えることになる。

(出典：日本がん看護学会監修「患者の感情表出を促す NURSE を用いたコミュニケーションスキル」医学書院, 2015,P2 - 3, 一部改編)

問 1. ①～⑤に該当する語句を下の語群の中から選択しなさい。

観察	強要	無意識	理解度	性格	伝達	特徴	能力	意思	感情
----	----	-----	-----	----	----	----	----	----	----

問2. 非言語的表現にはどのようなものがあるか、具体的に5つ挙げなさい.

問3. 患者とコミュニケーションをとる上で、患者が本当の気持ちを表出できるように大切な医療者の具体的な態度や姿勢について、あなたの考えを200字以内で述べなさい.

問題 2 以下の文章を読み、問 1～問 2 に答えなさい。解答は解答用紙（問題 2）に記入しなさい。

セルフケアとは、個人が生命、健康、および安寧を維持するために自分自身で開始し、遂行する諸活動の実践である。（中略）病人もしくは障害者は、彼らの健康状態や、即時的あるいは将来的なセルフケアへの要求に従って、他者からの部分的あるいは全体的ケア（あるいは教育、方向づけとかたちでの援助）を必要とする。セルフケアとは、成人が自らの存在、健康、安寧を存続させるために持続的に行う自分自身に対する貢献である。他者のケアとは、その成人の属する社会集団で、依存状態にある成人の健康および安寧のためにその成人が行う貢献である。

（出典：ドロセア E. オレム 著、小野寺 杜紀 訳、オレム看護論—看護実践における基本概念（第 4 版）、医学書院、2005 年、P42 より一部改編）

問 1. 疾患を有する患者の療養生活におけるセルフケアとは何か。具体例を示して説明しなさい。

問 2. 看護者が「患者のセルフケアを支援する」とはどういうことだと考えるか。問 1 で示した例を用い具体的な看護支援も含めて述べなさい。